

未来のエネルギー 見つけた!

特集

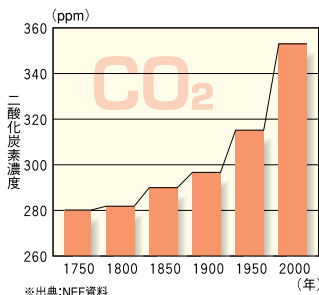
1

▶ 新エネルギー導入の取り組み

New Energy

自然界にある太陽光や風力などを活用し、
私たちの生活に必要なエネルギーとして利用する取り組みが進んでいます。
これらは、地球温暖化をもたらすと指摘されている二酸化炭素の排出量が少なく、
枯渇の心配のない未来のエネルギーとして大きく期待されています。
新エネルギーとはどのようなものなのか、利用推進の必要性、県内での導入事例などをご紹介します。

● 二酸化炭素の濃度変化



が求められています。

この温室効果ガスの8割を占めているのが石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やすことにより発生する二酸化炭素です。このため、二酸化炭素の排出量が少なく、環境にやさしいクリーンなエネルギー

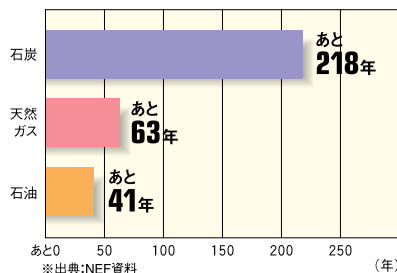
地球温暖化とは、温室効果がある指摘されている二酸化炭素などのガスの増加によって、温室のように地球の気温が上昇することです。海水面の上昇による沿岸部の水没、洪水や干ばつなどの異常気象、水不足や食糧不足の深刻化、熱帯性の伝染病が広がるなど、私たちの生活に大きな問題が発生すると心配されています。

その① 地球温暖化の問題

新エネルギーの必要性

特に石油は、エネルギー源であるだけでなく、化学繊維やプラスチック、洗剤や化粧品、医薬品などの原料として幅広く使用されており、私たちの暮らしに深く関わっています。また、石油は、ほとんどを輸入に頼っているため海外情勢が大きく影響します。安定的なエネルギー源の供給確保のためにも石油に代わる新しいエネルギーが必要なのです。

● 各エネルギー源がなくなるまであと何年?



石油や石炭、天然ガスなどの資源には限りがあり、石油は約40年、天然ガスは約60年、石炭は約220年で無くなってしまうと推計されています。

その② 資源の枯渇の問題